

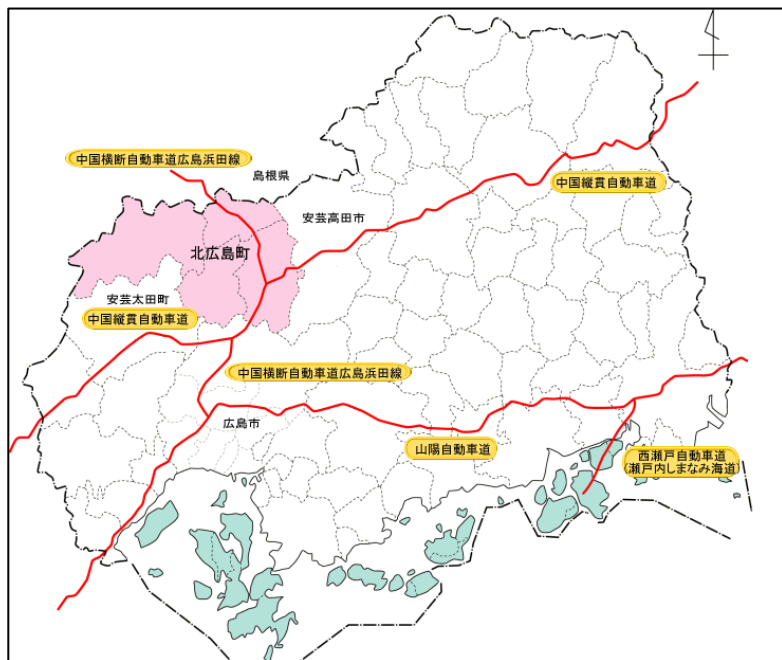
北広島町 四季物語



〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田1122
広島県 北広島町農山村体験推進協議会

E-mail kankou@town.kitahiroshima.lg.jp
Tell 0826-72-7368 Fax 0826-72-5242

北広島町の概況



北広島町の概要

平成 17 年 (2005) 年 2 月 1 日合併により誕生 (芸北町・大朝町・千代田町・豊平町の 4 町が合併)。町面積 646.20k m²は、町としては中国地方一の広さ (日本一広い町は北海道足寄町 1,408.04 k m²)。中国自動車道の IC が 2 つ有り、広島市中心部から約 40 分でアクセス可能。隣接する市町は広島市・安芸高田市・安芸太田町・島根県の益田市・浜田市・邑南町。

協議会の構成

北広島町農山村体験推進協議会は、平成 20 年に設立し、今年で 17 年目を迎えます。

北広島町役場と北広島町観光協会が共同で運営を行っています。

受入可能人数

最大受入人数 100 人 (3 クラス)

北広島町の自然

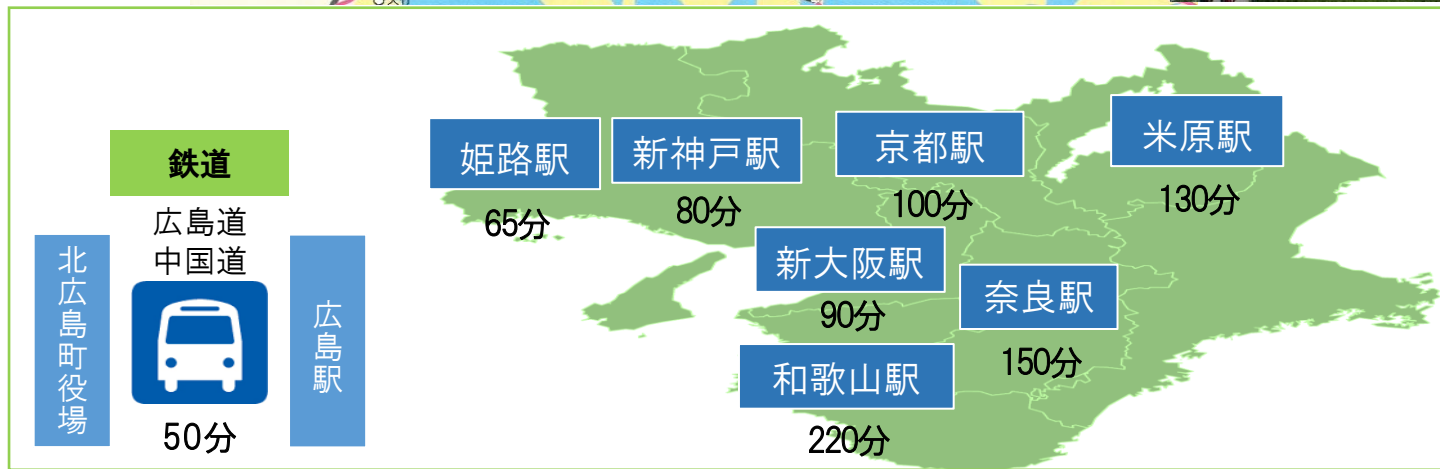
太田川・江の川の原流域。中国山地に位置し、面積の 8 割以上は森林地帯。・北西部の芸北地域は 1,000m 級の山が連なる (町内最高峰は芸北地域の刈尾山 1223.4m)。国立公園の一部である八幡湿原がある芸北地域八幡は 2m の雪を記録する事もある豪雪地帯。八幡湿原は、乾燥し湿原としては危機的状況であったが、環境省の湿原自然再生事業を利用し、地域住民行政が一体となった活動で湿原として再生した。南東側は標高 200m 台の盆地地帯。・カワシンジュガイやオオサンショウウオ等の貴重な生物の保全や、草原の環境保全として山焼きを行う等、住民による自然保護活動が盛んである。

教育旅行実績(令和6年2月8日時点)

年度	修学旅行 学校数	修学旅行 生徒数	小学校 校数	小学校 生徒数	インバウンド 学生団体数	インバウンド 生徒数
H20	-	-	5	270	-	-
H21	-	-	7	327	3	81
H22	-	-	2	33	5	114
H23	-	-	10	324	2	46
H24	-	-	12	449	2	55
H25	-	-	22	1,103	1	11
H26	-	-	40	1,835	0	0
H27	3	280	28	1,128	3	42
H28	8	784	31	1,040	2	49
H29	7	646	24	724	3	56
H30	10	1,078	31	809	9	247
H30/R1	7	861	27	649	6	137
R2	1	148	2	59	0	0
R3	0	0	14	583	0	0
R4	2	173	17	334	0	0
R5	9	792	19	437	8	189
R6(予定)	12	999	13	169+町内	2	118
合計	47	4,762	291	10,109	44	1027

北広島町へのアクセス

広島駅から北広島町まで50分。広島への修学旅行では
欠かせない宮島・平和記念公園にも好アクセス！



おすすめの選択別体験プログラム

①神楽体験

広島を代表する農村文化・神楽のエネルギーを体験することができます。



北広島町で盛んな神楽は、元々秋の収穫を祝い秋祭りの際に神様に奉納する神事でしたが、その娯楽性の高さから人気が高く、今では広島県の観光コンテンツとして広島市の中心部で毎週開催されるほどの評価を得ています。神楽どころ北広島では、実際に神楽を体験し、神楽を支えている地元住民から直接話を聞くことができます。過疎地で暮らす人間がどのような思いで神楽を守り、伝え、発展させてきたかを直接知る機会にはありません。

➡ 伝統芸能神楽体験・伝統見つけ直しプログラム

②被爆体験講話

被爆者の生の声を聴くことができるタイムリミットが迫っています。北広島町では、被爆体験講話をおこなえます。



広島に原爆が投下された日から70年以上経ち、被爆者のみなさんも高齢化が進んでいます。

被爆者の生の声が聴けるのは今だけです。北広島町では、地元に住む被爆者と協力して、被爆者と対話ができる被爆体験講話を実施しています。

生徒数に応じた講師と会場をご用意しますので、身近に講師を感じて体験を聞くことができます。

➡ 被爆体験講話

③農業体験

宮島にお米を納めていた米どころ北広島町で、農業体験ができ、地元で収穫された米の美味しさを味わえます。



かつて宮島の荘園だった北広島町は、今も農業が盛んな地域です。

春にはユネスコ無形文化遺産に登録されている『壬生の花田植』に代表される田植えのお祭り田楽を各地で開催し、秋には収穫を祝う奉納神楽が集落ごとに行われ、住民の生活と米作りが一体となっています。

農作業体験で一次産業の実態を学ぶことができ、また農家民泊では農業体験ができ、農家の生活を知ることができます。

➡ 農作業体験・宮島のしめ縄づくり・家業体験

新学習指導要領改訂に対応して 「主体的・対話的で深い学び」のために

新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体的・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動、とりわけ修学旅行等で、その実現に向けての期待が高まります。主体的に事前、事後学習を行うことに加え、現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなります。旅行先での学習のテーマは地域事情に合致したものでなくてはなりません。地域の魅力と課題を示すことにより主体的なテーマの選択が可能となります。

北広島町の魅力

①水がきれいでおいしい

軟水県広島の中でもトップクラスの超軟水。
臥竜山「雪霊水」は硬度8！水が美味いとなんでも美味しい！

②神楽でつながる地域力

神楽団体数（おそらく）日本一の北広島町では神楽が地域コミュニティの核を作る。
神楽は町民の誇りであり、共通の話題であり、若者が集う場になっている！

③山陰山陽の要衝で文化的

周辺には3つの世界遺産と2つの世界無形文化遺産！
原爆ドーム・厳島神社・石見銀山・石州半紙は北広島町と大きな関連が！

北広島町の課題

①せどやまの管理が行き届かない

自宅の裏山の管理が行き届かず、生物多様性は失われ、人間と動物の生活境界があいまいに。獣害も深刻な状況に。

②伝統芸能の後継者不足

少子高齢化により、神楽団や田楽団の後継者不足が進んでいる。
300年受け継いできた演目も、田植え歌も継承することが難しくなっている。

③雪かき・草刈の人手不足

空き家の増加、地域集落の人口減少により、かつて集落で行っていた河川の草刈も困難。冬には独居老人の雪かき作業も間に合っていない。

芸北せどやま再生プログラム

ー北広島町 SDGs探求学習プログラムー



○体験プログラムのねらい

せどやま(山と人里の境界線にある山林)は地球温暖化の原因物質である二酸化炭素を吸収する役割を果たすとともに、里に生きる人間と森に生きる動物との境界線となって人間の営みと森の生態系を守る役割を果たしているが、人手不足と国内木材市場の低迷により手入れが行き届かず、荒廃が進んでいる。こうしたせどやまの現状と課題を知り、地域の景観保全や環境保全(生物多様性の保全)を実現するための方策を生徒自身が考え、せどやまの役割と過疎の町の現状を関係者から情報収集し、課題解決を考え、自らが何ができるか考える。



木の切り出し体験の様子



せどやま市場の様子

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始(自己紹介・体調確認)
- ② 北広島町の概要を理解する
- ③ せどやま再生プログラムについて理解する
- ④ 山から木を切り出す
- ⑤ せどやま市場の見学
- ⑥ 残していく必要がある取り組みであるのか考える
- ⑦ どんな課題が存在しているのか考える
- ⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
- ⑨ 課題解決策を考え議論する
- ⑩ まとめの会(体調確認・感想発表)

○体験プログラムの教育効果

- ①北広島町の現状について理解する
- ②せどやまとは何かについて理解する
- ③クリーンエネルギーの導入手法を理解する
- ④情報を整理し自分事として考え理解する
- ⑤設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ①森林の役割・存在意義
- ②ふるさとを残すことの大切さ
- ③豊かさとは何か

○服装・装備・準備物

帽子・長袖シャツ・運動靴・タオル・水分

- 受入人数 最大40名
- 所用時間 4時間程度
- 実施時期 4～11月
- 体験会場 森林・山(フィールドワーク)
町内施設(グループワーク)

SDGs を目指して行動変容に繋げたい事柄

北広島町の伝統を見つめ直そう

—北広島町SDGs探求学習プログラム—



○体験プログラムのねらい

「広島神楽」は広島県を代表する伝統芸能であり、広島市中心部では毎週定期公演が行われ、観光客などで賑わっている。北広島町は神楽を上演する神楽団の団数が県内一であり、神楽どころとして有名である。しかし、過疎の町である北広島町では、どの神楽団も後継者不足で、存続の危機にある。神楽団員等から情報収集し、課題解決を考え、自らが何ができるか考える。



神社での神楽鑑賞



※写真はイメージです

グループワークの様子



現役神楽団員へのインタビュー

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始(自己紹介・体調確認)
- ② 北広島町の概要を理解する
- ③ 北広島町の文化や歴史について理解する
- ④ 広島神楽の概要を理解する
- ⑤ 広島神楽を取り巻く現状を把握する
- ⑥ 残していく必要がある伝統芸能であるのか考える
- ⑦ どんな課題が存在しているのか考える
- ⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
- ⑨ 課題解決策を考え議論する
- ⑩ まとめの会(体調確認・感想発表)

○体験プログラムの教育効果

- ①北広島町の文化や歴史について理解する
- ②伝承への思いを理解する
- ③少子高齢化等の社会問題を理解する
- ④情報を整理し自分事として考え理解する
- ⑤設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ①伝統芸能が果たす地域社会への重要性
- ②伝統芸能が持つ教育力
- ③異なる文化や歴史を理解することの意義

○ 受入人数 最大100名

○ 所用時間 3時間

○ 実施時期 通年(冬季は要相談)

○ 神楽鑑賞時間は含まれますが、神楽鑑賞料が別途必要となります

○ 平日は夜の体験になります。※要相談

SDGs を目指して行動変容に繋げたい事柄

北広島町 宿舎の紹介

宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください

芸北オークガーデン 北広島町細見145-104 TEL0826-35-1230



夕食



露天風呂



部屋

立地

西中国山地国定公園がある芸北地域の
中心に位置します。
(戸河内ICから30分)

定員

客室7室・定員数32名(4名部屋6室・8名部屋1室)

温泉

天然温泉・露天風呂完備
中国山地の自然を感じなが
らリフレッシュできます

北広島町 宿舎の紹介

宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください

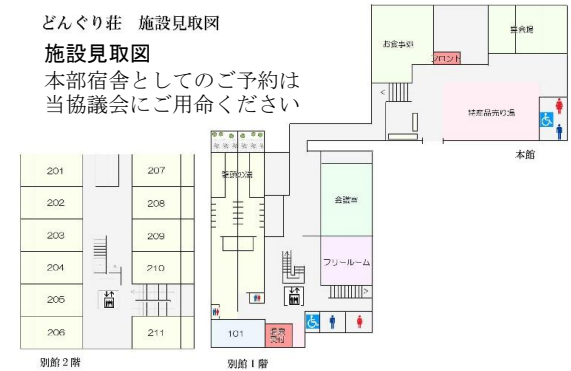
どんぐり荘 北広島町都志見12609 TEL0826-84-1313



どんぐり荘 施設見取図

施設見取図

本部宿舎としてのご予約は
当協議会にご用命ください



夕食

立地

北広島町のほぼ中心の道の駅豊平どんぐり村内に立地しています。
(広島北ICから20分)

定員

和室4名定員：5部屋 和室3名定員：1部屋 洋ツイン2名定員：1部屋
洋二段ベッド8名定員：4部屋 計11部屋：59名



露天風呂

温泉

豊平地域のシンボルである龍頭山を眺めながらゆっくりと入浴できます。



部屋



北広島町民宿分宿プラン

北広島町にある民宿を活用して、修学旅行生の受入が可能です。
 民宿の多くは農家も兼ねており、民泊家庭と同じ雰囲気生徒様を受け入れることができます。
 北広島町の自然を活用した選択別体験と一緒にぜひご利用ください。

町内には13の民宿があり、120名の受入が可能です。
 また、隣町の安芸太田町にも2件の民宿があり、含めて140名の受入が可能です。

番号	民宿名	番号	民宿名	番号	民宿名
1	あるぺん屋	6	そよ風	11	上岡
2	くらたや	7	タニモト	12	憩
3	吉川	8	岡田	13	もりもと
4	むろや	9	原	14	野川(安芸太田町)
5	谷広	10	岡杖	15	入江(安芸太田町)

申込先：北広島町農山村体験推進協議会事務局
 北広島町役場商工観光課・北広島町観光協会
 電話050-5812-8080

